

2014(H26).06.01

県総体(兼)国体予選の第1戦は66-0で合同Bに快勝

6月1日(日)12:38～堀原運動公園自由広場で、平成26年度県総体(兼)国体予選第5グループの1回戦が行われ、日立一高は前半26-0、後半40-0、計66-0で、合同Bチーム(土浦一、土浦工、牛久、つくば国際、竜ヶ崎一、竜ヶ崎南)に快勝しました。





快晴で前日に続く猛暑となり、芝生の上は30℃を超える中、大会規定により前後半ともランニングタイム(ロスタイムなし)の25分ハーフ、レフリーの判断でウォーターブレイク(給水のための一時中断)を入れ、熱中症対策をしながらの試合となりました。

日立一高単独チームとしては、昨年10月の全国大会県予選以来、7か月半ぶりの公式戦となり、15人中4人が1年生ということで、前半の前半は歯車が噛み合いません。敵陣に入っても不用意な(不可解な?)ペナルティで陣地を戻され、オープンに展開しても敵のディフェンスラインが到着するまでにサインプレーが終了していたりでラインブレイクできず、ブレイクダウン(密集)に入るか否かの判断が悪く(或いは誰も入っていないため)ターンオーバーされたり、ストレスを溜めたまま、14分経過した時点でウォーターブレイクとなりました。

ただ、個々人はしっかりタックルに入れており、ディフェンスが破綻しているわけではないので、大崩れする不安はありませんでした。(以下、主な得点経過を記録しますが、肉眼によるセンターライン付近からの確認なので、得点した者の名前等が間違っていましたら、ご容赦ください。)

試合再開後、敵陣に攻め込んだ日立一高は、ラックを連取し、最後はCTB野中(?たぶん)がラックサイドを突破し中央付近に初トライ、ゴールも成功し(7-0)とリード。その5分後にはペナルティからFWが前進しラックからCTB野中がトライ、ゴール成功(14-0)

前半25分にはSO岡崎の縦突破からロック岡野がトライ、ゴール成功(21-0)、30分にはラックのターンオーバーからプロップ市村がゲインし、プロップ藤田がトライ、ゴール不成功(26-0)となったところで前半が終了。

サイドが替わって、後半最初のキックオフはノット10m、嫌な雰囲気になりかけましたが、開始2分、敵陣ゴール前のラックをターンオーバーし、左に展開しCTB大谷がトライ、ゴール成功(33-0)。4分にはラックからNo. 8志賀の好判断でターンオーバー、右オープンに展開して相手のペナルティから再度右に展開しCTB野中がトライ、ゴール不成功(38-0)。8分敵陣22mライン付近から合同Bが果敢に攻撃するもノックオン 拾ったCTB野中がトライ、ゴール成功(45-0)。

後半も14分が経過した頃にウォーターブレイク。再開後17分には前半互角だったスクラムを押し切ってターンオーバー、展開してラックを連取し、最後はCTB大谷がトライ、ゴール成功(52-0)。22分にもCTB大谷がトライ、ゴール成功(59-0)。25分には敵陣ゴール前のラックからサイドを突いたSH小宮がトライ、ゴール成功(66-0)したところで試合終了。

終わってみれば、前半はやや不安定だったスクラムも後半は安定して2本のターンオーバーを奪い、イージーなハンドリングミスや密集での反則が目立って少なくなるなど、試合中にも成長の跡が見られる試合となりました。途中交替の1年生を含めて6人が公式戦デビューだったことを考えれば、まずは合格点をあげても良いでしょう。

2・3年生は、この試合で得られた自信を胸に課題を精査し、1年生はチーム力の底上げに繋がるよう地力を蓄え、次の試合に反映させてください。